

令和6年度全国地域リーダー養成塾修了者研修会 開催案内

- 1 目的 修了者対象の事後研修を実施することにより、自己啓発や情報交換を図り、地域リーダーとしての資質向上を支援する。今年度は特別講義を除き、現地開催とする。
- 2 日時 令和6年9月26日(木) 13:30~13:50 受付
14:00~17:30 分科会
17:30~19:30 交流会
令和6年9月27日(金) 9:30~11:30 特別講義
- 3 場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL(03)3261-9921
- 4 対象 リーダー塾修了生、第36期塾生
- 5 分科会
(1) 分科会数 7分科会
(2) 人数 各分科会10~20名程度
※希望者が多い場合は調整いたします。
(3) テーマ及び講師 別紙のとおり
- 6 特別講義 ※オンライン(Zoom)開催あり
(1) 講師 認定NPO法人 プラチナ美容塾
理事長 伊藤 文子 氏 副理事長 河西 修子 氏



(2) プロフィール

伊藤 文子 (いとう ふみこ) 氏

大手化粧品会社で美容教育指導、商品拡販宣伝企画、営業企画などに携わり、営業管理職 (支店長、販社部長職)。

リタイア後大学で地域福祉を学び、美容キャリアを生かし地域高齢者を元気にする NPO 法人プラチナ美容塾設立。

2017 年東京都女性活躍大賞受賞。 2018 年「認定 NPO 法人」取得。

現在、港区内で社会福祉協議会評議員、NPO 活動助成審査委員、男女平等参画フェスタ運営委員。

河西 修子 (かわにし みちこ) 氏

化粧品会社 40 年勤務。美容部長、研究・開発、教育などに実績。定年後、同期入社 of 伊藤理事長と共に、NPO を立ち上げ、美容力で地域課題サポートとなる美容ボランティアの育成と派遣、地域での美容イベント、講座他、行政や企業から 1 DAY ボランティア受入等、幅広く担当。

現在、薬剤師と NPO の 2 足の草鞋で日々活動中。

(3) テーマ

「ありたい自分が、地域を元気にする」

～プラチナ世代が、地域共生の主軸に！～

7 申込方法

参加申込書に必要事項を記入し、メール・FAX・郵送等で事務局へ提出してください。

8 交流会

参加者負担 3,000 円

※参加希望者には連絡文書送付 (8 月上旬予定) の際に、振込方法を通知いたします。

8 宿泊

宿泊施設は各自で手配をお願いいたします。

別紙 分科会のテーマ及び講師（敬称略）

分科会	テ ー マ 及 び 講 師	
第1分科会	テーマ 講 師 パ 初 対 メッセージ	フットパスからの地域まちづくり 西村 幸夫（塾長、國學院大學観光まちづくり学部長・教授、 東京大学名誉教授） 井澤 るり子（美里フットパス協会 会長、フットパスネットワーク九州議長 合同会社フットパス研究所 元代表） フットパスの運動をご存知ですか。 イギリス発祥の歩きながら地域を満喫する小径のことで、日本でも全国各地 に活動団体が生まれ、全国組織や全国大会も開催されるようになってきていま す。 今回は、そうしたフットパスの強力な発信基地のひとつ、熊本県美里町のフ ットパス協会の会長であり、フットパスネットワーク九州の議長でもある井澤 るり子さん（合名会社フットパス研究所代表）をゲストに、フットパスの魅力、 可能性、そしてフットパスを通じたまちづくりの今後についてじっくりと語り 合いたいと思います。魅力的な田園風景が新しい可能性をもたらしてくれるこ とをみんなで実感したいと思います。
第2分科会	テーマ 講 師 パ 初 対 メッセージ	まちの温度と感度を上げる「fan°C」構想とは！？ 沼尾 波子（元主任講師、東洋大学教授） 森 一峻（一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社 代表理事） 皆さんお元気ですか。この分科会では、「自分」やヒトの思いを起点にした 地域づくりを考えます。長崎県東彼杵町を拠点に、人の思いを大切に、コトを 興し、モノを創る人たちの繋がりを豊かに創出する東彼杵ひとこともの公社代 表理事の森一峻さんをお招きして、「fan°C」構想を御紹介いただき、豊かな地 域の創造について語りあいましょう。
第3分科会	テーマ 講 師 パ 初 対 メッセージ	自治体と大学の連携を考える 田村 秀（主任講師、長野県立大学教授） 永野 真義（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 助教） 全国各地で、自治体と大学が連携するケースが増えています。教員だけでなく、 学生が地域に入り、地域の様々な取組みに参加したり、地域活性化のアイ デアを提案するなどより実践的な流れとなっています。分科会では、全国各 地の自治体と連携している東京大学の永野先生を講師に招き、自治体と大学の 連携の深化について考えていきます。
第4分科会	テーマ 講 師 パ 初 対 メッセージ	犯罪対策の自治体シフト 国から自治体へ「重点」の移行をどう受け止めるか 土山 希美枝（主任講師、法政大学教授） 石塚 伸一（龍谷大学名誉教授）ほか、自治体関係の実践者 国や自治体が策定する〈政策・制度〉は、「これはいいことのはず」という先 入観と思い込みで展開されることがある。テーマによっては、他の市民からと りくむことが好まれない施策もあります。さまざまな「無理解」をこえて、社 会全体にとって必要なことのための模索を考えます。昨年、好評をいただいた 参加者同士が意見交換する時間を設定する予定です。

分科会	テ ー マ 及 び 講 師	
第5分科会	テーマ 講師 パネリスト メッセージ	<p>まちづくりのマネタイズ</p> <p>松井 望（主任講師、東京都立大学教授） 伊藤 洋平（株式会社みんなのまちづくり 代表取締役、一般社団法人 まちの toolbox 代表理事）</p> <p>まちづくりは民間部門と行政部門の協働と連携により実現されます。協働や連携といわれてもなかなか実現は難しいのも実情です。とりわけ、住民が満足しながら日々の生活を過ごし続けるまちをつくるためには、両部門の考え方を理解し、つなぐ役割が不可欠です。自治体職員の経験をもち、起業された伊藤洋平さんをお迎えして、まちづくりとマネタイズのあり方を参加者と一緒に考えていきたいと思ひます。</p>
第6分科会	テーマ 講師 パネリスト メッセージ	<p>地域の新たな担い手と地域づくりについて考える ～二地域を往来する暮らし方・働き方～</p> <p>野原 卓（主任講師、横浜国立大学大学院准教授） 永田 賢一郎（合同会社 T.A.R.P 代表）</p> <p>縮減時代の地域づくりを持続してゆくには、地域の主体だけでは限界がきており、新たな考え方で様々なひとたちを巻き込んでゆくことが求められています。その中で、「二地域居住」を始めとする新たな住み継ぎ方や関わり方も踏まえながら、地域にどのような可能性が広がるか、立科町と横浜市を往来した地域づくりの経験をもつ講師（永田賢一郎さん）とともに、考えてみたいと思ひます。</p>
第7分科会	テーマ 講師 パネリスト メッセージ	<p>日本の地域伝統食品における新しい価値創造の手段と展望</p> <p>関司 直也（主任講師、法政大学教授） 二瓶 徹（株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン (T&T ジャパン) 代表取締役）</p> <p>日本各地には、歴史や風土に根差した多くの伝統食品が食文化を育み、地域の個性を形作りながらも、その生産や経営基盤が脆弱なために、発信力や展開力に課題を抱え、その継承も危ぶまれています。その中で、地域の伝統食品の製造業者が共同出資する T&T ジャパンでは、ブランド管理を徹底して、正しい価値を訴求し、顧客創造に向けた挑戦を続けています。そこで、本分科会では、T&T ジャパン代表取締役の二瓶徹さんをお迎えして、地域食品ブランド表示「本場の本物」の取り組みや、ヨーロッパに向けた輸出の現場から、日本の地域伝統食品が直面する課題と可能性を議論します。</p>